

- 2 シリーズSDGs③
- 3 よくばり体験MAX参加者募集、よくばり体験記
- 4 認定こども園入園児募集
- 5 農業委員会だより
- 6 国保だより
- 7 かんきょう情報
- 8 わがまち健康情報
- 9 公民館だより
- 10 わらべの館だより、久留島武彦記念館だより
- 11 隣保館だより
- 12 人権作文
- 13 くらしの情報
シリーズ防災/シリーズ障がい福祉/やる気おこし町内一周駅伝参加者募集/本人通知制度を利用しましょう/移住相談窓口をご利用ください/国民年金の付加年金制度/オレンジカフェくす/家の管理・活用にお悩みの方へ/「筑後川水系上流圏域河川整備計画案」の住民説明会/介護職員初任者研修/こちら119/ごみ出しカレンダー/ねこの引き取り/日曜休日当番医/その他各種募集・試験・相談など
- 22 まちのわだい
- 24 おでかけ情報/ベビー & キッズルーム
- 25 目次/町長コラム「にぎりめし」/おくやみ 他
- 26 たんじょう・わが家のアイドル 他

表紙の写真は、玖珠町役場のFacebookでも紹介していますが、視聴者からの手紙をもとに、自転車で思い出の地を巡る旅番組で紹介された、塚脇小学校のイチョウの木です。

番組で訪れた時は緑色だったイチョウの葉が、放送日の翌日に行くと、とても綺麗に色づいていました。伐株山の紅葉をバックに撮ってみました！



秋の名月を見ていたら、「ウサギが餅つきをしている」と信じていた幼少時代を思い出しました。アメリカとソ連(当時)が宇宙開発競争を激化させていたさなか、アメリカのジョン・F・ケネディ大統領が「今後10年以内に人間を月に着陸させ、安全に地球に帰還させる」という声明を発表し、今からちょうど60年前の1961年(昭和36年)「アポロ計画」がスタートしました。

声明から8年後の1969年(昭和44年)7月、「アポロ11号」によって人類が初めて月に降り立ちました。乗員が月面をフワフワと歩く姿は、現在でも放映されることがありますが、1972年(昭和47年)まで、計6回、月面に到達しました。

一転して現在、大分空港から離陸する旅客機に人工衛星などを積載したロケットを装着して、上空から宇宙空間へロケットを発射する「大分空港をスペースポート(宇宙空港)に」との取り組みがスタートしました。

人工衛星を打ち上げるためには、国内外から多くのエンジニアやその家族、関係者が数か月間、県内に滞在することになります。星空のきれいな玖珠町として、この取り組みに連動し、農林畜産物を有利販売したり、観光に繋がられないか?」等々、大分空港の取り組みから展開する「宇宙空港ビジネス」の検討を10月から始めました。

アポロ11号の乗員は地球へ無事帰還し、後世に大きな影響を与えましたが、私自身も、玖珠町の今後の様々な施策を考えながら、「町政への帰還」を見上げた名月に誓いました。



人口と世帯

(前月比)10月末現在

人口	14,731人 (-15)
世帯数	6,642戸 (-3)
男	7,121人 (-9)
女	7,610人 (-6)

令和3年 交通事故の概況

10月末現在

地域別	人身事故 発生件数	物損事故 発生件数	発生件数計	死者 (人)	負傷者 (人)
北山田	1	40	41		1
森	1	44	45	1	
中央	1	44	45	1	
玖珠	8	107	115		9
西部	1	8	9		2
八幡		3	3		
山浦	1	4	5		1
古後	1	4	5	1	
小計	14	254	268	3	13



おくやみ申し上げます (敬称略)

令和3年10月9日から令和3年11月8日までに届出のあった町内居住の死亡者。
(ご家族が町報への掲載を希望された方のみ)

自治区名	氏名	年齢	届出人	自治区名	氏名	年齢	届出人
日出生本村	中山八重子	87	洋	鎗水	繁田 エミ	93	武夫
田の口	高倉トシエ	89	奥村隆一	谷	太田アヤ子	97	幸徳
柿西	吉田 幸子	90	稔	長野新町	宮本 末榮	98	盛雄
たかす上	衛藤ツギヨ	94	初男	中島	梅木順一郎	80	藤田一幸
長野上	本松 元嗣	78	アヤ子	横町東	寺本 初男	95	羊一
板屋	渡邊キヨ子	92	廣幸	円徳野	加藤 良子	86	肇
早水	岐部満樹生	92	隆樹				

問 住民課 総合窓口班 ☎ (72) 1113